



大分の青少年



大分県青少年健全育成大会



県下一斉あいさつ運動



少年の主張大分県大会



中学生・高校生地域リーダー研修会

INDEX

- ② 大分県青少年健全育成大会(大分県青少年育成県民会議創立50周年記念大会)
- ③ 大分県青少年育成県民会議50年の沿革
- ④ 第38回「少年の主張大分県大会」
- ⑤ 県民会議加盟団体の活動
 - ・公益社団法人ガールスカウト大分県連盟
 - ・大分県スポーツ少年団本部
 - ・日本海洋少年団大分県連盟
- ⑥ 市町村民会議の取り組み(豊後高田市、杵築市、日出町)
- ⑦ 市町村民会議の取り組み(大分市、豊後大野市、日田市)
- ⑧ 第37回「大分県少年の船」運航事業/中学生・高校生地域リーダー研修会
- ⑨ 青少年のネット利用実態調査
- ⑩ 「大人が変われば子どもも変わる」県民運動/自死遺児救済援護事業のお知らせ
- ⑪ 大分県青少年育成県民会議加入のお願い/インターネット出前講座のお知らせ
- ⑫ 大分県からのお知らせ 大分県子ども・若者支援地域協議会/青少年自立支援センター

平成28年度 大分県青少年健全育成大会 (大分県青少年育成県民会議創立50周年記念大会)

平成28年度大分県青少年健全育成大会を11月20日(日)トキハ会館ローズの間において開催しました。

この大会は、例年、11月の子ども・若者育成支援強調月間に合わせて開催しているものですが、今回は、昭和41年に設立した大分県青少年育成県民会議の創立50周年を記念する大会でもあり、大分県青少年育成県民会議のメンバーなど関係者185名が参加しました。

式典では、広瀬会長(大分県知事)の挨拶の後、大分県青少年育成県民会議会長表彰として4団体及び個人5名の方に表彰状を、創立50周年を記念した「大分県青少年育成県民会議創立50周年記念」青少年育成功労者顕彰として個人7名の方に感謝状を授与しました。受賞者を代表して大分県更生保護女性連盟会長・近藤 節子さんが謝辞を述べられました。続いて、創立50周年を記念して新たに制定したシンボルマークに関して、最優秀賞1名、優秀賞2名の方を表彰しました。



その後、今年度の少年の主張大分県大会で最優秀賞を受賞した佐藤 主理さん(九重町立このえ緑陽中学校2年生)が「いじめ撲滅委員会が解散する日まで」を発表し、「九州初!大学×ボーイスカウト〜スカウトでありAPU生な私たち」と題してAPUローバーズの皆さんが活動報告を行いました。引き続き「あなたとまちの未来のつくりかた」と題して、福岡テンジン大学・岩永 真一学長による講演があり、これまでの教育と、これからの教育の違いを中心に、「青少年育成・教育は、大きく変革しないといけないと思う。」など熱いメッセージをいただきました。その後、「大分の青少年育成による未来づくり」と題した交流会を開催しました。



表彰を受けた方々



APUローバーズの皆さんによる活動報告



少年の主張 佐藤主理さんの発表



福岡テンジン大学 岩永真一学長による講演

大分県青少年育成県民会議会長表彰

■青少年団体の部

別府溝部学園高等学校生徒会(別府市)
中津市立今津小学校児童会(中津市)
中津市立今津中学校生徒会(中津市)

■保護育成者の部

小林由美子(中津市)
近藤 節子(国東市)
大力 瞳(別府市)
中野 浄昭(国東市)
藤野 哲郎(玖珠町)

■保護育成団体の部

豊後大野保護区
保護司会(豊後大野市)

(敬称略)

「大分県青少年育成県民会議創立50周年記念」 青少年育成功労者顕彰

酒井 勇(国東市) 平井貴美子(大分市)
真田 康広(大分市) 松田 順子(宇佐市)
羽田野秀夫(竹田市) 山岸 治男(大分市)
樋口 奈美(大分市)

(敬称略)

大分県青少年育成県民会議 シンボルマークコンテスト

■最優秀賞■ 板井 美月(大分市)

■優秀賞■ 運上 美咲(大分市)
姫野真央子(大分市)

(敬称略)

大分県青少年育成県民会議の沿革

昭和41年(1966年)	大分県青少年育成県民会議設立(10月8日)
〃	青少年のための環境浄化に関する条例施行
昭和47年(1972年)	日中友好「九州青年の船」事業開始(～平成8年)
昭和54年(1979年)	(国際児童年)
〃	「少年の主張」大分県大会開始
昭和55年(1980年)	青少年育成市町村民会議の設立(昭和55年～)
〃	「大分県少年の船」運航事業開始
昭和60年(1985年)	(国際青年年)
平成2年(1990年)	県民会議 旧シンボルマーク決定
平成6年(1994年)	(国際家族年)
平成7年(1995年)	豊の国青少年ディレクター養成講座開始
平成16年(2004年)	自死遺児救済援護事業開始
平成17年(2005年)	青少年の健全な育成に関する条例施行
〃	大分県青少年健全育成審議会設置
平成18年(2006年)	「大人が変われば子どもも変わる県民運動」事業開始 「大人が変われば子どもも変わる」シンボルマーク決定
平成19年(2007年)	青少年自立支援センター開所
平成22年(2010年)	子ども・若者育成支援推進法施行
平成25年(2013年)	大分県子ども・若者支援地域協議会設置
平成26年(2014年)	子どもの貧困対策の推進に関する法律施行
平成28年(2016年)	県民会議創立50周年記念大会 【内閣府より感謝状受領(11月28日)】 県民会議 新シンボルマーク決定

大分県青少年育成県民会議 創立50周年記念大会宣言

明日の「おおいた」を担う心豊かでたくましい青少年を育て、その可能性を伸ばしていくことは、県民全ての願いであり、責務でもある。

昭和41年10月に大分県青少年育成県民会議が創立されて以来50年、我々は、青少年育成関係機関・団体、地域における青少年育成指導者等とともに、この願いの実現を目指して青少年育成県民運動を推進してきた。

しかしながら、少子化や情報化の急速な進展など、青少年を取り巻く環境が急激に変化し、携帯・ネット利用によるトラブル、不登校やひきこもり、ニートといった青少年の社会的自立の遅れが社会問題化している。

我々は、こうした状況を深く認識し、家庭・地域・学校・職場など、全ての県民がそれぞれの役割・責任を担い、一体となって青少年が地域や社会の一員として、未来を主体的に切り拓く資質と能力を持った人間として成長できるよう、青少年の社会参加活動を推進していく必要がある。

県民会議創立50周年を機に、県民をはじめ、県、市町村、青少年育成市町村民会議、青少年育成機関・団体等と連携・協力しながら、青少年の健全育成を図る県民運動の推進母体として、関係機関・団体と連携して、運動の一層の推進に努めることを決意し、ここに宣言する。

平成28年11月20日

大分県青少年育成県民会議

第38回

—今、中学生が訴えたいこと—

少年の主張

大分県大会



今年度は、昨年度より5校多い県内22校から1,221人の応募があり、第一次・第二次審査を経て選ばれた10人の中学生が県大会に出場しました。県大会は平成28年8月19日(金)、竹田市久住公民館を会場に開催され、地元の中学生や一般聴衆者など約500名が参加しました。発表のテーマは、4月に発生した熊本地震に関わるものやいじめの問題から職場体験・ボランティア・国際交流といった内容まで多岐にわたり、発表者はそれぞれのテーマの中で自分の思いを多くの聴衆に伝えました。

大会発表者作品

※学年は大会当時

最優秀賞

◆「いじめ撲滅委員会が解散する日まで」

佐藤 主理(九重町立ここのえ緑陽中学校2年)

優秀賞・共感賞

◆「私に足りなかったもの」

田中 希和(九重町立ここのえ緑陽中学校3年)

優秀賞

◆「過去を振り切って」

竹内 麻衣(玖珠町立玖珠中学校2年)

優良賞・大分県教育長賞

◆「花のエネルギー」 渡邊 優斗(竹田市立久住中学校2年)

優良賞

◆「細心の注意を」 後藤 千夏(竹田市立緑ヶ丘中学校2年)

◆「私がボランティアで学んだこと」
塩谷 慈琴(豊後高田市立高田中学校2年)

◆「生きる意味」 廣橋 澁太郎(竹田市立直入中学校3年)

◆「命とは」 古木 綾乃(佐伯市立佐伯南中学校2年)

◆「忘れない～震災が教えてくれたこと～」
森 花音(竹田市立緑ヶ丘中学校3年)

◆「私の国際交流」 森 榮歩(大分市立南大分中学校2年)

作品紹介 第38回「少年の主張大分県大会」最優秀賞



「いじめ撲滅委員会が解散する日まで」

九重町立ここのえ緑陽中学校 2年
佐藤 主理

どうしてまたこんなことをするのか。許せない。絶対。

最初は怒りしかなかった。

3学期が始まってすぐに、僕たちの学年でトイレの壁に悪質な落書きがされるという事件が起きました。それも2度目です。1度目の落書きの後、僕たち正副ルーム長と生徒会執行部が集まり対策を立てました。みんな絆を深めようと、学年レクレーションをしたり、いじめによる被害が出ないように学年全体で守ろうというスローガンを決めたりしました。しかし、それからわずか2週間後に2度目の落書きがあったのです。

そこで、今度は正副ルーム長、執行部だけではなく、この件について真剣に考えようという人が集まり、「いじめ撲滅委員会」という会をつくりました。最終的にはこのいじめ撲滅委員会がなくなってもみんなが仲良くできる学年にするという目標掲げて、新たに話し合いました。そこで出た意見は、怒りに満ちたものばかりでした。落書きのせいで人を傷つけ、学年を巻き込んだのだから、自分の身勝手な行動を考えてほしいと思いました。また、僕たちは学年のみんなにも今の思いを書いてもらいました。みんなもやはり、いじめに対する不満や批判、中には、みんなの絆を深めようとした僕たちの思いが届いていないと書いてくれた人もいました。

でも、その中で一つ僕たちの目にとまった意見がありました。それは、「落書きをした人にも、何か思いがあったのではないか。何か傷つくようなことがあったのではないか。」という意見です。

これを読んだとき、はっとしました。確かにそうかもしれない。落書きをした人にも、何らかのトラブルがあったのかもしれない。僕たちが気づいてなかっただけかもしれないと思ったのです。僕たちは落書きをされた人のことはばかり気にかけていて、落書きをしてしまった人に寄り添う気持ちが持てていませんでした。

そこで、僕たちいじめ撲滅委員会は、この人が書いてくれた思いのように、落書きをしてしまった人にも寄り添う心を持って活動することにしました。今の自分たちになにができるのか真剣に考えました。その結果、悩みを打ち明けてもらえるようなアンケートを作るのはどうだろうかと思いが出ました。悩みが原因で人が傷ついてしまうのなら、その悩みの解決を僕たちで手伝おうと考えました。でも果たして僕たちに悩みを打ち明けてくれるのだろうかという不安もありました。自分でもそんなに簡単に人に悩みを打ち明けることはないだろう。どうやったら悩みを打ち明けてもらえるのか。なかなか話し合いは、進みませんでした。

そんな中、ある人がふっと、まず自分たちが人から悩みを打ち明けられるように信頼されるのが大事なのではないかと言ったのです。僕はなるほどと思いました。それから、みんなで、信頼されるような人間になろうと確認し合い、絶対に情報をもらさないこと、僕たちも信頼されるようにがんばるので信用して書いてほしいこと、書くのはいつでも自分のいい時間に自由に書いていいことを伝え、アンケート用紙を配りました。みんなが書いてくれるか心配でしたが、予想以上にたくさんの意見、要望、悩み事を書いてくれました。勉強について、部活の人間関係についてなど様々なものがありました。今僕たちは、みんなの悩みの一つひとつの解決にむかって、責任をもって取り組んでいます。僕たちの活動の成果かどうかわかりませんが、トイレへの落書きはなくなりました。もう2度と、このようなことが起きないように、僕たちはこの活動を続けていきます。いつか、このいじめ撲滅委員会が解散できる日がくるまで。

県民会議加盟団体の活動

公益社団法人 ガールスカウト大分県連盟

問合せ先：097-556-6808
月・木・金・土(10:00~16:00)

世界の仲間と一緒に

ガールスカウトは、世界146の国と地域で約1,000万人の少女と女性たちが自分の可能性を伸ばし、責任ある世界市民となれるように活動しています。

楽しい活動で重視する3つのポイント

- 自己開発…ボランティア活動等で自分の新たな可能性を発見します。
- 人とのまじわり…さまざまな人と行動し、お互いを尊重する心を育てます。
- 自然とともに…自然との調和を学び、豊かな感性を育てます。

2016年度は、長野県交流キャンプや九州・沖縄キャンプに参加しました。野外料理、テント立て、マナー等たくさんの訓練をしてキャンプを終えた少女たちは達成感で目が輝き、自信に満ちていました。



ガールスカウトで伸びる力

現代社会に求められている力を伸ばすことができます。

- 実行力
- コミュニケーション能力
- リーダーシップ能力 等

少女のみのグループで民主的に役割を決め、協力しあいながらさまざまな目標や課題を成し遂げていく体験の場があります。



大分県スポーツ少年団本部

問合せ先：097-504-0888 月～金(9:00~17:00)

昭和37年9月に「スポーツを通じた青少年の健全育成」という理念のもと、大分県スポーツ少年団が設置されました。当初は2団(30名)でのスタートでしたが、東京オリンピックなどスポーツに対する気運の高まりから、登録団員数を着実に伸ばし、ピーク時(昭和62年)には登録総数2万人を超える青少年スポーツ団体へと成長しました。現在は、約1万2千人の団員が県内18の市町村において、それぞれの小学校区を拠点に軟式野球やサッカー、バレーボールなどのスポーツを中心とした様々な活動を展開しています。また、スポーツ少年団ではリーダー育成にも力を入れており、大分県リーダー会を組織しています。リーダー会ではジュニア・リーダースクールや駅伝交流大会などの企画・運営、さらには国際交流事業である日独スポーツ少年団同時交流などにも取り組んでおり、これまでに108名のリーダーをドイツに派遣してきました。スポーツ少年団に興味のある方は、まず県本部へお問い合わせください。



日本海洋少年団大分県連盟

問合せ先：097-521-6113 月～金(9:00~17:00)

日本海洋少年団大分県連盟は、大分団と佐伯団の2つの単位団があり、海を活動の中心としてマリンスポーツや団体行動訓練を通じ、幼稚園の年長から小学生、中学生、高校生が団員として活動し、幅広い年齢の男女の子どもたちが1つの集団となって自分たちで団体活動を進めて行きます。普段の活動は「訓練」と呼び、指導者には海洋少年団の卒団者、海上自衛隊の退官者、ヨットなどの操船技術・海の知識に詳しい人たちが務めています。通常訓練では、手旗信号やロープワークの技術の習得、ヨット・シーカヤック・ローボートの操船などを行っています。

大分県や大分市・佐伯市の地域行事、県内の少年団体との交流事業にも参加し、他県(特に九州北部)の海洋少年団とも合同で活動を行います。九州北部の海洋少年団員が集まる宿泊研修もあり、中高生になると他県にも友達や先輩・後輩と呼べる頼もしい存在がたくさんできて、海洋少年団の活動がますます楽しくなります。体験入団も実施していますので、お気軽にお問い合わせください。



市町村民会議の取り組み

1 豊後高田市 (豊後高田市青少年健全育成市民会議)

豊後高田市青少年健全育成市民会議は、市内に2支部と9の協議会で構成しています。各支部、協議会は小学校区単位で組織され、地域の自治会・老人クラブ・PTA等の地区内の諸団体で構成しています。各地域では子どもの登下校の見守りや、子どもからお年寄りまで参加できる行事を行い青少年の健全育成に努めています。

本部組織は、支部、地区協議会と連携を図り、毎年健全育成大会や自然体験活動等の開催や夏季休暇には市内たまり場等のパトロールを警察署・補導連盟・教師・自治会の皆さんと合同で開催しています。また、「大人が変われば、子どもも変わる」運動や各種行事等で健全育成の啓発活動に取り組んでいます。そして、「あいさつ運動の推進」や「家庭の日のポスター展」をとおして市民の気運を高めています。



家庭の日ポスター展



健全育成大会講演会

2 杵築市 (杵築市青少年健全育成協議会)

杵築市青少年健全育成協議会は、市内14小学校区(旧小学校区含)ごとに組織された地区育成会議を中心に、自治会や地域団体・PTAなどと協力しながら、あいさつ運動、地域内の定期的なパトロールや児童の登下校時の見守り、世代間交流事業(スポーツ大会や花植え活動)など、地域住民の積極的な参加のもと、それぞれの地域の特色を活かした活動を行っています。

市全体の青少年健全育成協議会では、各地区育成会議が活発に活動できるよう支援するほか、「きつき天神祭り」「山香夏祭り」「大田どぶろく祭り」開催時に関係団体と協力し、会場周辺のパトロールを実施することで、青少年の非行防止にも取り組んでいます。



有書図書立入調査



青少年の非行防止活動

3 日出町 (日出町青少年健全育成町民会議)

日出町青少年健全育成町民会議においては、子ども会育成会を中心に活動をおこなっています。活動内容としては、子ども代表者会議・三世代ふれあいまつり・親子バドミントン大会・ミニバレーボール大会などがあります。いずれも地域住民・異年齢の子ども達との交流を通じて地域の子どもの健全な育成を目的としております。大神地区においては、平成25年度より登山事業を実施しております。登山を通じて親子の絆を深めるとともに青少年の心身の鍛錬を目的に実施しております。今年度は両子山の登山をおこないました。みんな元気よく登り、夏休みのよい思い出となったことと思います。

町内全体の取組みとしては、朝の声かけ運動があります。保護者などが通学路に立ち、通学時の児童へのあいさつをおこなうものです。子ども達・地域の人達のつながりを高めるものとしておこなっています。



大神地区子ども会育成会登山事業



両子山山頂に向けて登る参加者

4 大分市 (大分市青少年健全育成連絡協議会)

大分市には64の校区・地区青少年健全育成(連絡)協議会があり、青少年が社会参画できる事業の展開に努めるとともに、子どもたちが安心して暮らせる街づくりを目指して様々な活動を展開しています。

特に、校区・地区ごとに取り組んでいる「一校区一特色活動」では、青少年と地域社会の人々や青少年相互の交流を深めるため、地域の諸団体や学校・PTAと連携しながら生活・自然体験やスポーツ、文化、ボランティアなど、豊かな体験や交流活動の場を子どもたちに提供しています。

また、「すこやか大分っ子サポートパトロール」では、地域が一体となり青少年の非行防止に向けた昼夜の見守りを実施しており、地域の子どもは地域で守り育てる活動を実践しています。



すこやか大分っ子サポートパトロール



地区・校区青少年健全育成推進大会

5 豊後大野市 (豊後大野市青少年健全育成市民会議)

豊後大野市青少年健全育成市民会議では、児童・生徒の健やかな成長を願い、学校・家庭・地域が連携した青少年健全育成活動を進めることを目的に毎年11月に「次代を担う『豊後大野っ子』を育てる市民のつどい」を開催しています。

平成28年度は、緒方子ども太鼓の活動発表、子どもたちの俳句や短歌、家族で作った家族川柳などの優秀作品を披露・表彰する「ことばの森フェスタ」、助産師・思春期保健相談士の内田美智子さんから「奇跡の命を生きる子ども達と見守り、支えていく大人」と題しての講演会を実施。参加者は、子どもたちの表現活動のすばらしさに感動し、講演会では、かけがえのない子どもたちに大人がどう向き合うべきかじっくりと考える機会になりました。

また、年2回の会議では、本つどいの計画をはじめ、青少年に関わるそれぞれの立場で情報の共有や意見交換を行い、7つの支部においてもその地域の小中学校等と連携して、あいさつ運動や防犯・交通安全活動などを行っています。



緒方子ども太鼓



最優秀賞作品披露

6 日田市 (日田市青少年問題協議会)

日田市青少年問題協議会では、青少年の健全育成に関する市民意識の一層の高揚のため、11月19日に第35回日田市青少年健全育成大会を開催し、小・中・高校生やPTA代表等による意見・実践発表と記念講演を行いました。発表では、縦割り交流やあいさつ運動、鍵かけ甲子園などの交通安全の取り組みが紹介され、日々の活動を継続する重要性や素晴らしさを再認識しました。

続く特別講演では、福岡市のフリースクール玄海を主宰している嶋田聡先生が、学校に行けなくなった子どもや引きこもりになってしまう子どもの傾向や子育てには父親の存在が欠かせないことなど、改めて子どもと接する保護者のあり方について考え直すことができました。



小学生の実践発表



中学生がパソコンを使って実践発表

第37回「大分県少年の船」運航事業

大分県の明日を担う青少年の健全な育成を図るため少年の船を運航し、学校や家庭では体験できない船内外での研修及び集団生活を通じて、青少年の社会性を養いながら、生きる力を育むことを目的に、昭和55年から運航しており、今回で37回の運航となりました。

大分県少年の船運航期間中は概ね天候にも恵まれ、唯一、沖縄到着後に予定していた海水浴が直前に発生した落雷事故のため断念することになりましたが、船内活動をはじめ、沖縄での平和学習などの現地研修は予定どおり実施することができました。

日程 事前研修 7月2日(日) 大分銀行ドーム
本研修 7月23日(土)～27日(水) 沖縄県
事後研修 10月9日(日) 大分銀行ドーム

参加者 小学生(団員) 418名
中学生(副班長) 40名
高校生(班長) 40名
成人(スタッフ) 54名 計552名



活動内容 船内では、班や班を越えた仲間づくりのための「大分県少年の船交流会」や環境学習、平和学習などを行い、沖縄では「大分の塔」での慰霊祭や「ひめゆり平和祈念資料館」見学などを行いました。

中学生・高校生地域リーダー研修会

平成29年1月29日(日)に「中学生・高校生地域リーダー研修会」をホルトホール大分(大分市)で開催しました。本研修は、中学生・高校生の社会参加を促進するため、コミュニケーション力、協働力、構想力等地域で活動するための考え方やスキルを身につけることを目的として、大分県青少年育成県民会議が主催して実施したものです。

当日は県内の中学校7校、高等学校12校から43名が参加し、班単位で熱心に研修に取り組みました。午後からのフィールドワークでは、まちの現状と課題を知るため、商店主等まちづくりに取り組んでいる方々へのインタビューを6か所で行いました。その後、インタビューでの聞き取りから課題を整理し、その課題を解決するためのアイデアを出し合い、全員が発表しました。

今回の研修成果を参加者自らが暮らすまちへとフィードバックし、各地域で生き生きと活躍してくれることを期待しています。

主な活動プログラム

- 午前：「コミュニティを知ろう」(講義)
「ワークショップ」(演習)
※自己紹介、インタビューの視点と項目の整理
- 午後：「フィールドワーク」(実習)
※大分市内の3商店街でまちづくりに取り組む6人の方へのインタビュー(6班×1人)
「フィールドワークで聞き取った課題の整理と解決方策の検討及び発表」(演習)

参加者の感想

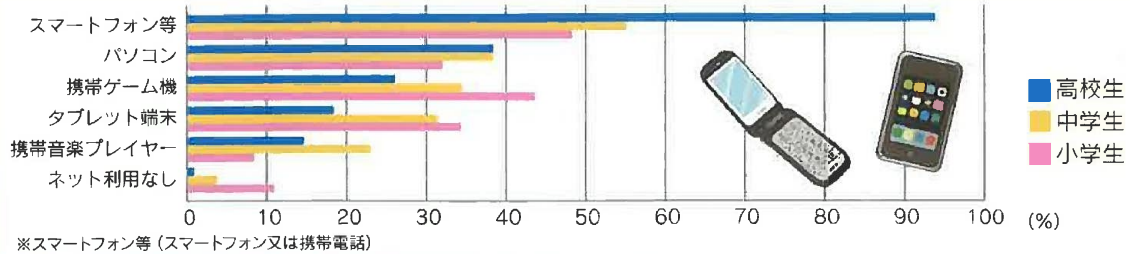
- なぜ学び、人と関わるのが大切なのか理解できました。「高校生」という今の自分の観点から周囲を見てみると、新しい世界と素敵な大人の姿が見えました。
- 勉強は自分のためだけでなく、地域や国、社会のためであるというお話しに驚きました。今まで一度もそんなことを考えたことがなかったので、とても新鮮でした。
- 地域を活性化するためには都会のよい面を取り入れることが必要だと思っていました。が、「大分らしさを出すこと」が大事だと思いました。



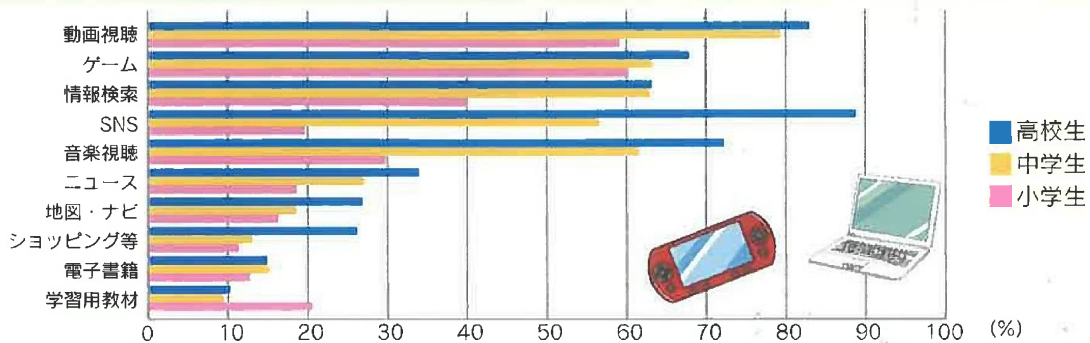
青少年のネット利用実態調査

平成28年11月、大分県では県内の小学生(小2・小5)、中学生(中2)、高校生(高1)の児童生徒及びその保護者を対象にインターネットの利用状況等に関する調査を実施しました(約9,000人から回答)。

1 青少年のインターネット利用機器…青少年のインターネット利用は増えており、約9割の子どもたちが利用しています。

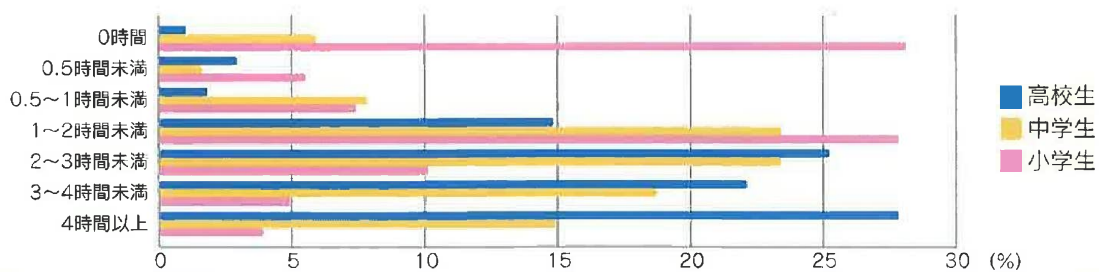


2 青少年のインターネット利用内容…全学種において動画視聴が多く、SNSの内訳はLINEが76.8%、Twitterが46.7%でした。



3 青少年の平日におけるインターネット利用時間…

利用時間は「1時間~2時間未満」が最も多く、高校生では2時間以上の利用者が75.1%でした。



以上の結果は調査の一部ですが、子どもたちはスマートフォンや携帯電話に限らずあらゆる機器でインターネットを利用しており、その内容も多種多様で、平日であっても多くの時間を費やしていることがわかります。

インターネットは情報収集やコミュニケーションのツールとして非常に便利なものではありませんが、一方で、インターネットに起因するトラブルや事件、事故に巻き込まれることも増えています。

子どもたちが安心・安全にインターネットを有効利用できる環境にするため、以下のことに取り組みましょう。

1 親子でよく話をして、ルールを決めましょう!

インターネットは利用を始めるときが最も大切です。利用内容や時間、場所、マナー、課金、使い方、トラブル発生時の対処など、子どもの年齢や知識・技能等に応じたルールについて、家庭で話し合ひましょう。

2 フィルタリングを利用しましょう!

有害情報をブロックするのはフィルタリングが有効であり、スマートフォンだけでなく、パソコン、携帯ゲーム機など、インターネットに接続できる全ての機器で利用することにより効果が高まります。

フィルタリングも様々な種類があるためLINEなどSNSが利用できるものもありますので、子どもを守るためにも、Wi-Fi環境も含めて検討し、フィルタリングを利用しましょう。

3 大人自身が情報モラルや情報リテラシーなどインターネットについて自己研鑽しましょう!

「青少年の健全な育成に関する条例」では、保護者が子どものインターネット利用を管理し、フィルタリングやルールづくりをするよう求めており、保護者自身が自己研鑽に努めることとしています。

大分県青少年育成県民会議をはじめ、県や県教育委員会、警察本部などでは、情報教育に関する講座を行っていますので、積極的に参加するなど情報通信社会で必要な情報モラルやネット上のマナーを学びましょう。

「大人が変われば子どもも変わる」県民運動



～子どものお手本は、
あなた(大人)です～

県や大分県青少年育成県民会議では、大人がお手本を示す「大人が変われば子どもも変わる」県民運動に取り組んでいます。特に、「県民総ぐるみあいさつ運動」や「公共マナー向上運動」に力を入れています。

子どもは社会を映す鏡といわれており、まず子どものお手本になる大人になろうということで、毎年7月と11月に、ガレリア竹町やJR大分駅など公共の場において、あいさつ運動などの街頭啓発活動を展開しています。

また、毎月第3金曜日(青少年の日)には、県庁周辺であいさつ運動を行っています。



公共マナー向上運動は、大人一人ひとりがマナーについて考え、自らをただすことによって子どもの見本になろうというものです。

取組としては、電車に乗車して青少年見回り活動を行っており、携帯電話やスマホに関するマナーについても啓発しています。

県民の皆さま方も、この趣旨にご理解いただき、「あいさつ」や「マナーに注意する」など、身近にできることから是非、取り組んでください。



自死遺児救済援護事業のお知らせ

大分県青少年育成県民会議では、自死遺児(自殺により親権者を失った児童生徒)を対象に、入学・卒業祝、修学旅行費補助、文化事業・スポーツ見学費助成等の援護活動を行っています。対象は県内に居住し、県内の小・中学校及び支援学校の小・中学部に在籍する自死遺児です。大分県内に居住していても、県外の学校に通学している人は対象にはなりません。亡くなった親権者の性別等に関係なく、また、生計を担う者であったかどうかは問いません。ただし、親権者の再婚や養子縁組等により新たに両親を得た者は除きます。

問い合わせ先 大分県青少年育成県民会議事務局 097-506-3076

「大分県青少年育成県民会議」への加入のお願い

大分県青少年育成県民会議とは

県内市町村民会議をはじめ企業、団体等の111団体で構成されています。

県内の青少年が地域や社会の一員として主体的に未来を切り拓いていく資質を身につけ、自立を達成できるよう、「非行・被害防止と有害環境対策の推進」、「体験活動の推進」、「普及啓発と県民運動の推進」の3つを重点目標に掲げ、家庭・地域・学校が一体となった青少年健全育成県民運動の一層の推進を図ることを目指しています。

加入のお願い

現在、社会の急速な変化の中で、青少年の非行や被害だけでなく、ニート、ひきこもり、インターネットによる有害情報の氾濫など、青少年をめぐる多くの問題が山積しています。

このような状況を少しでも改善し、将来の大分県を担う青少年が健やかに成長していけるよう、県民総ぐるみで青少年の健全育成に取り組んでいかなければなりません。

そこで、この活動の輪をさらに広げるために、一緒に活動に参加していただいたり、趣旨に賛同していただける企業や団体の皆様のご加入をお願いいたします。

◎加入のしかた

大分県青少年育成県民会議事務局へご連絡いただいた後、「加入申込書」を送付いたしますので、ご記入のうえ提出をお願いいたします。詳しくは「大分県青少年育成県民会議」ホームページをご覧ください。

◎会費

正会員 年間3,000円 賛助会員 年間5,000円

◎事務局

大分県生活環境部私学振興・青少年課内
TEL：097-506-3076 FAX：097-506-1745
E-mail：oita.patrol@gmail.com

検索 大分県青少年育成県民会議

携帯・ネット利用に関する保護者向け啓発講座

インターネット出前講座

大分県青少年育成県民会議では、ネット利用によるトラブルから青少年を守るため、LINE株式会社、株式会社ドコモCS九州、KDDI株式会社九州総支社、ソフトバンク株式会社の協力により「携帯・ネット利用に関する保護者向け啓発講座(インターネット出前講座)」を実施しています。PTAや公民館等の研修でぜひご活用ください。

28年度は19講座で1,833名が受講(29年2月末現在)しています。

内容

携帯電話(スマートフォン)・ネット利用に係るトラブル事例とその解決方法等について、学校やPTAが行う保護者向け研修や市町村PTA連合会、青少年育成関係者等が対象の研修に講師(携帯電話事業者)を派遣します。

主なトラブル事例

- ネットいじめ
- 個人情報やプライベートな画像の流出
- 長時間利用(ネット依存)
- 高額請求(ワンクリック詐欺)

問い合わせ 申し込み先

詳しくは大分県青少年育成県民会議事務局
TEL 097-506-3076 FAX 097-506-1745 にお問い合わせください。
申込書は「大分県青少年育成県民会議」のホームページからダウンロードできます。

社会的自立に困難がある子ども・若者を支援します!

国は、社会生活を円滑に営む上での困難がある子ども・若者を総合的に支援するため、地域の関係機関が連携して支援するためのネットワークづくりを推進しています。

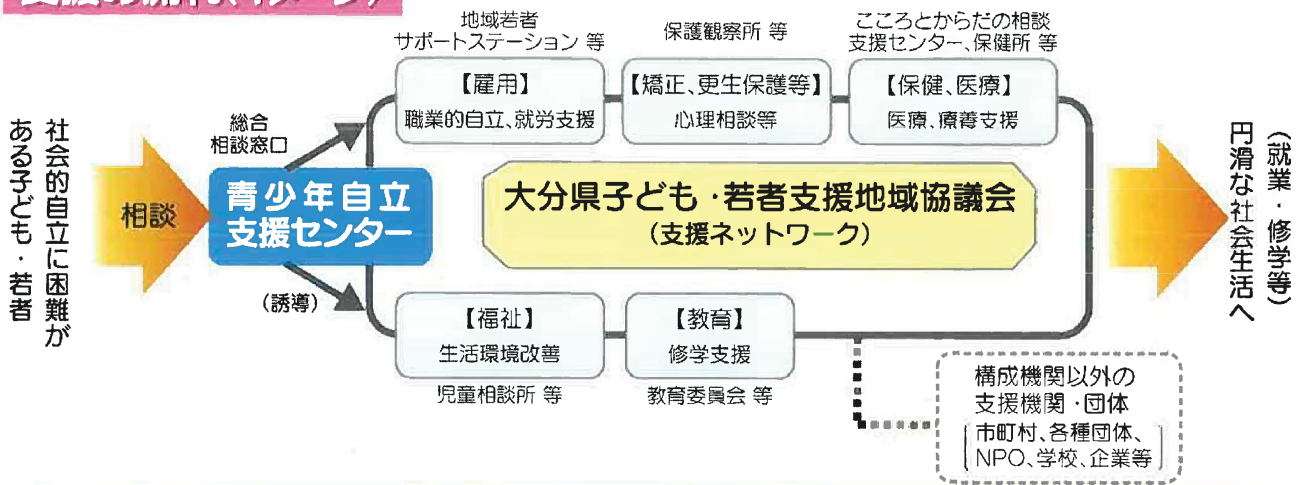
県では、平成25年3月、様々な分野における国や県、民間の支援機関・団体が構成する「大分県子ども・若者 支援地域協議会」を設置し、支援ネットワークの強化を進めています。

大分県子ども・若者支援地域協議会の構成機関・団体 (平成29年3月現在)

国の機関	大分家庭裁判所／大分保護観察所／大分少年鑑別所／大分刑務所／中津少年学院／大分労働局
県の機関	私学振興・青少年課／障害福祉課／こども・家庭支援課／地域福祉推進室／雇用労働政策課 教育庁生徒指導推進室(※)／警察本部少年課／保健所(6保健所)／こことからだの相談支援センター 中央児童相談所／中津児童相談所／教育センター／二豊学園／県立爽風館高等学校
公共相談機関	青少年自立支援センター／ジョブカフェおおいた／児童アフターケアセンターおおいた 大分県発達障がい者支援センター「イコール」／大分県地域生活定着支援センター おおいた地域若者サポートステーション／おおいた県南地域若者サポートステーション
民間団体	子ども・若者とその家族を支援する団体(12団体) NPO法人大分ステップの会／NPO法人グッドイナフの会／NPO法人心の支援センター チャイルドラインおおいた／大分県保護司会連合会／ばすたの会(おおいた「非行」と向き合う親たちの会) 星の会(不登校を考える親の会)／NPO法人共に生きる／NPO法人パワーウェーブ日出 (公社)大分県社会福祉士会／ハートフルウェーブ／(一社)いのちと暮らしのつながり研究所 かたつむり学舎

(※)平成29年4月～組織改正に伴い「教育庁学校安全・安心支援課」に名称変更

支援の流れ(イメージ)



青少年自立支援センター 悩み相談全般を受け付けます!

大分県では、不登校やひきこもり、ニートなど社会的自立に悩みを抱える青少年及びその家族を支援するための総合相談窓口として「青少年自立支援センター」を開設しています。

本人や家族の支援ニーズ等に応じて適切な支援先につなぎます。
相談は**無料**です。悩みごとがあれば、お気軽にご相談ください。

まずは ☎ **097-534-4650** にお電話ください。
(通話料がかかります)

- 相談内容** ▶ 不登校、ひきこもり、ニート等青少年の悩み相談全般
- 相談時間** ▶ 月曜日～土曜日 9:30～17:30
- 所在地** ▶ 大分市東春日町 17-19 大分ソフィアプラザビル 4階
- URL** ▶ <http://www.oitajiritsu.jp/>

